



2020年年末手当の取り組みシリーズ②

「基準内賃金の3.0ヶ月」満額獲得に向け JR労働者の力を結集させよう!

業績悪化により職場では不安の声があがっています。しかし、会社は見通しが厳しくなる一方で必要な設備投資を実施することを明らかにしています。私たち東日本ユニオンはJR労働者の生活を守るために、設備投資と同等に社員への投資を実現させるため「基準内賃金の3.0ヶ月」を中心とした2020年度年末手当要求を会社に提出しました。

創造的な取り組みにより発信される職場の声

満額獲得に向け職場からは様々な取り組みが行われています。JR労働者の総力を結集させ、生活を守るために3.0ヶ月回答実現させましょう!

新潟車両センター分会

新潟車両センター分会は10月22、23日に職場集会を開催し、年末手当の取り組みにおける分会方針を「要求満額獲得に向けた組織強化拡大」と決め取り組むことを確認しました。今年は例年とは違うたたかいが求められる中で、分会としてどのような運動に取り組むのか、自分自身がいくらほしいのか要求額について自分なりの根拠を考える取り組みを行うことを組合員と確認しました。

要求満額獲得に向けて全組合員で運動を展開します。

(新潟車両センター分会報告)

